



子どもたちが学ぶ場所を もっと安全にする

2024年度は、こんな活動を行います。



- 戦争や紛争被災者・難民への支援
- 労働組合弾圧に対する闘争支援
- 海外の自然災害への緊急支援
- 連合「愛のカンパ」への拠出
- 地連・県本部の国際協力事業への支援
- 海外の労働組合組織化支援
- 平和・人権・環境などの課題に取り組むNGOなどへの連帯・支援
- エファジャパンの活動支援
- 飢餓、疫病などへの緊急支援
- 人身売買（トラフィッキング）防止と被害者支援

ご協力ありがとうございました。

2023年度に寄せられた国際連帯救援カンパは
44,224,527円となりました。

主な使途	金額
● 連合「愛のカンパ」	1,000万円
● エファジャパンの活動支援金	1,300万円
● トルコ・シリア地震に対する救援カンパ	330万円
● フィリピン移住労働者支援	150万円
● アムネスティ・インターナショナルへの支援	150万円
● JVCのスーダン紛争被災民支援	50万円
● ミャンマーの民主化支援	100万円
● 広報・事務費	1,266,100円

(会計年度と運動の取り組み期間が一致していないため、HPで公開している数字とズレがあります)

*詳細はHPでもご覧いただけます。

<https://www.jichiro.gr.jp>

連帯カンパ

検索Q

■お問い合わせは

総合企画総務局国際担当

TEL : 03-3263-0264 E-mail : kokusai@jichiro.gr.jp



みなさんからの支援が
“貧困をなくす未来”の支えになります。

自治労の「国際連帯救援カンパ」は1991年に始まり、難民支援や児童労働禁止のキャンペーン、途上国の子どもたちの生活と教育の支援などに活用してきました。世界では、紛争、気候変動、災害、構造的貧困により、7億8,300万人が十分な食料を得ることができず、51カ国で4,000万人以上が「人道的危機」レベルまたはそれより深刻な飢饉に陥っています。

● ポールペン 2本
● ノート 1冊
● 18色えんぴつ 1セット

ウケタイで

● えんぴつ 10本
● A4ノート 10冊

ミヤウで

● 教科書 10冊

スーパで

で買えるもの

500円

「想いを寄せ続けてくれること」が 子どもたちの未来に つながります



スーダン

人口4687.4万人のうち 難民数約**313万人** 人口の**6.7%**



スーダンは、「アフリカ最長の内戦」「世界最悪の人道危機」を経験しました。2011年に南スーダン共和国が独立しましたが、長期間の内戦と紛争、国境地帯での武力衝突により不安定な情勢が続いています。避難民は313万人にもものぼり、世界の全難民の1割にせまる状況です。

戦闘地域から逃れた避難民たちには、まず緊急支援として食糧、水、医薬品が不可欠です。時間の経過にともない、農業や生計活動支援、井戸採掘による給水設備、住居やトイレなど生活インフラが必要になります。そして子どもたちの教育です。

避難民の子どもたちは、出生登録がされず学校に入ることができなかつたり、学校に入学できたとしても授業についていくことができません。補習校を運営して各教科の授業を行ったり、課外活動や心のケアをするなど、子どもたちが継続して学ぶことができるような環境整備、文具などの学習用品などの支援が求められています。

スーダンってどんな国？

南北にナイル川が縦断しスエズ運河の後背地として地中海と中東とアフリカを結ぶ重要な役割を果たしてきたスーダン。イギリス・エジプトから、共和国として独立する一歩手前で、北部のイスラム教徒と、南部のキリスト教徒が対立し内戦が勃発、「アフリカ最長の内戦」と呼ばれるスーダン内戦が続きました。内戦が停戦に向かっていった中、イスラム教徒のアラブ系と非アラブ系が対立し、ダルフル紛争が勃発。無差別虐殺が黙認されました。2023年4月には、軍と即応支援部隊が首都ハルツームで衝突、空爆がされるなど激しい戦闘が発生し、多くの死傷者が出ています。

ミャンマー

人口5417.9万人のうち 難民数約**294.5万人** 人口の**5.4%**



2021年2月1日のミャンマー国軍によるクーデターから2年半以上が経過しました。人々が民主化を求めて不服従運動を続ける中、ミャンマー国軍は恐怖心を植え付け、抵抗させないように意図的に村を焼き払い、住居を破壊し、見せしめに村人を殺害しています。

4,000人が殺害され、24,410人以上が逮捕され、今もなお19,895人が拘束されています。国際労働組合総連合（ITUC）に加盟していた労働組合は非合法組織に指定され、組合役員はパスポートもはく奪され、身を隠しながらの避難生活を余儀なくされています。国内および隣国に逃れた難民の数は約294.5万人にもものぼり、ジャングルの中に潜んでいたり、川を渡って国境を越えたりしています。

タイ国境の移民学校では、生徒の数がクーデター前から1.5倍も増加しており、教室や寮などの生活スペースに加え、食費も不足しています。子どもたちがお腹を空かせることなく、安全で衛生的な環境の中で学ぶことができるよう支援が必要です。

ウクライナ

人口3970.2万人のうち 難民数約**1340万人** 人口の**33.8%**



2022年2月24日のロシア軍によるウクライナ侵攻から1年半以上が経過しました。国内避難民は約530万人、欧州に逃れた難民は約810万人にもなります。

周辺国に逃れた人々の大多数は、子どもと女性です。避難生活が長くなる中、母国に帰ることも望めない女性たちは、避難先での支援に感謝しながら、自立のための仕事を求めています。教員や弁護士などの資格をもっていたとしても、避難先では、自活できるだけの仕事に就くことができません。

一方で子どもたちには、食糧、水、住居への支援に加えて、教育支援やメンタルヘルスケアなども重要です。絵を描いたり、スポーツをしたり、遠足に行ったり。不安でストレスの多い避難生活の中にあっても、友だちとふれあい、笑顔になれる時間と場所が必要です。

